

さいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）

中間見直しに係る中央区検討懇話会

会議録

日時	令和6年7月31日（水） 10時00分～11時50分
場所	中央区役所本館3階 大会議室
出席者 （敬称略）	<p>【委員】計14名 阿部 達哉／家崎 清子／五十嵐 健一／岩崎 道行／ 貝田 千恵子／近藤 登志夫／立川 雅子／土居 忠夫／ 野口 和海／三富 タミエ／望月 三之（座長）／山崎 啓子／ 山本 光雄／吉野 喜八（職務代理者）</p> <p>【事務局】計9名 中央区役所 北里区長／萩原区民生活部長／辻村健康福祉部長／ 工藤総務課長／野枝課長補佐兼係長／久富主査 都市戦略本部 都市経営戦略部 川瀬副参事 市民局 区政推進部 小島参事／加治主査</p> <p>【傍聴者】0名</p>
欠席者	〔委員〕計0名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 3 出席者紹介 4 座長及び職務代理の選出 5 意見交換 中央区の特性と将来像（さいたま市総合振興計画基本計画）の中間見直しについて 6 閉会
公開又は非公開の別	公開
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 席次表 ・ 中央区検討懇話会設置要綱 ・ 中央区検討懇話会傍聴要領 ・ さいたま市総合振興計画基本計画リーフレット ・ 資料1 「第1回さいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）中間見直しに係る中央区検討懇話会」

	・資料2 「第4部 各区の特性と将来像」
問合せ先	中央区役所 区民生活部 総務課 電話 048-840-6013

1 開会

○司会 定刻になりましたので、「さいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）中間見直しに係る中央区検討懇話会」を始めさせていただきます。

私は、本日の進行を務めます、中央区役所総務課長の工藤でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

初めに、お手元の配布資料の確認をいたします。

当日配布資料といたしまして、

①次第、②委員名簿、③席次表、④さいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）中間見直しに係る中央区検討懇話会設置要綱、⑤同じく、傍聴要領、⑥さいたま市総合振興計画基本計画リーフレット

次に、事前配布資料といたしまして、

⑦資料1 「さいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）中間見直しに係る中央区検討懇話会」⑧資料2 「第4部 各区の特性と将来像」

以上、8点でございます。

なお、委嘱状につきまして、本来は市長からお渡しするところですが、机の上に置かせていただいておりますので、ご了承願います。

お手元の資料に不足はございますでしょうか。

会議の途中に、お気づきになりましたら、事務局までお知らせください。

続きまして、本懇話会の公開の取扱いについてご説明いたします。

本日の会議は、さいたま市情報公開条例第23条により、原則公開とさせていただきますが、不開示情報に該当する事項について意見を聴取する場合等は、理由を明らかにした上で、会議の全部または一部を非公開とすることができることとされております。この公開、非公開につきましては、後程お諮りいたします。

現在のところ、傍聴希望者、報道関係者の希望はございません。

また、本日の検討会では、会議録を作成するための録音、記録のための写真撮影を行わせていただきます。会議録につきましては、各委員にご確認いただいたのち、座長の承認をもって確定させていただきます。

公開となる議事録は、各区役所情報公開コーナーと市の公式ホームページで、公開する予定となっておりますので、あらかじめ、ご承知願います。

2 挨拶

○司会 それでは、次第に従いまして、進めさせていただきます。初めに、開会に当たり、北里大介中央区役所区長より、ご挨拶を申し上げます。

北里区長、よろしくお願いいたします。

○北里区長 皆様おはようございます。お忙しいところ、また朝から暑い中、第1回さいたま市総合振興計画基本計画各区の特性と将来像の中間見直しに当たり、中央区検討懇話会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、検討懇話会の委員就任につきましても、快くお引き受けいただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。さて、現行の総合振興計画基本計画、こちらの計画期間が令和3年から令和12年でありまして、令和7年度に中間期を迎えます。そこで、これまでの取組につきまして、点検を行い、検証分析に基づく中間見直しを行うこととしております。そこで中央区の各地域や各分野の皆様方にお集まりいただき、地域の実情に精通されている立場からご意見を伺いたたく、検討懇話会を開催したものでございます。本日、中央区検討懇話会につきましては、皆様ご多忙の中、委員の皆様にかたご負担をおかけいたしますが、中央区の更なる発展に向けてご意見を賜りたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。簡単ではございますが本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 出席者紹介

○司会 ここで、本日の懇話会の出席者をご紹介します。

私の方から、名簿順にお名前をお呼びいたしますので、恐れ入りますが、ご起立いただき、一言、自己紹介をお願いいたします。

○阿部委員 皆さんこんにちは。さいたま市PTA協議会中央区連合会の阿部と申します。よろしくお願いいたします。中央区を盛り上げていくために、集まっていると思っています。

○家崎委員 皆様おはようございます。交通安全保護者の会中央支部の家崎です。よろしくお願いいたします。6月中に小学校の自転車点検、安全教室が終わりまして、ほっとしています。

○五十嵐委員 西与野地区社会福祉協議会の会長をしております五十嵐です。中央区が素晴らしい区になりますように皆さんで頑張っていけたらいいと思います。よろしくお願いいたします。

○岩崎委員 さいたま市花いっぱい運動推進会中央支部の岩崎です。最初の計画の時も参

加させていただきます、今回、この会が大切だと思い出席しました。どうぞよろしくお願いいたします。

○**貝田委員** 与野身体障害者福祉会の貝田でございます。若い人がなかなか入ってこなくて、この懇話会はどうなのかと思いましたが、若い人が少しでも入ってきていただけるようにしていただきたい。よろしくお願いいたします。

○**近藤委員** 与野商店会連合会の副会長の近藤と申します。中央区の発展のために、本日はよろしくお願いいたします。

○**立川委員** さいたま市中央区スポーツ復興会で、活動しております。さいたま市で「1市民1スポーツ」に取り組んでいます。アリーナができるということで、スポーツの推進についていろんなご意見お聞きして勉強させていただいて、振興会にご意見を持ち帰りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○**土居委員** おはようございます。中央区老人クラブ連合会の土居と申します。高齢者は増えていますが、会員の方が減っています。よろしくお願いいたします。

○**野口委員** 埼玉中央青年会議所の野口と申します。私ども青年会議所では講演や、毎年、ハートフルローズという一般の地域の方にアメリカンフラワーを作っていただいて、バラの魅力を発信させていただいている団体でございます。私自身は、丸宮食品という食品会社をやっております、中央区を含めまして、市内の全ての小・中学校、給食用物資を届けていただいております。今日は皆様と参加させていただきまして、私自身も知恵を絞らせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○**三富委員** おはようございます。さいたま商工会議所中央支部支部長の三富です。今日は皆様のご意見を踏まえながら、反映していきたいと思っています。そしてまた会議所の我々が気付いたことをお知らせしながら、よりよい中央区を作っていこうと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○**望月委員** さいたま市中央区子ども会連合会会長の望月と申します。中央区の子どもたちが、のびのびと外で活動できるようにしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○**山崎委員** 中央区ボランティア連合会会長の山崎と申します。プライベートでは下落合小学校で地域連携コーディネーターをしております、私のようなものが出席していいの

か心配しております。

この「この夏、何する？」というポスターが見えますでしょうか。

ボランティアをしましょうというさいたま市全体で運営している企画です。「えほんの会」では、本日から3日間下落合公民館、下落合小学校で中高大学生が参加して、読み聞かせを勉強しています。最終的には下落合小学校の学童保育の児童にボランティアするというものです。子どもたちにはボランティア精神が、たくさん沸いております。中年の方々は、生活が忙しくて、ボランティアする時間がない。また、近年ボランティア連絡会が高齢化して変化している。小さな子どもたちのボランティア精神を育てることによってよりよい中央区になっていくと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○**山本委員** 中央区民生委員児童委員協議会副会長の山本と申します。高齢化がどんどん進んで、民生委員が少なく、欠員等も出ているのが実態です。皆さんの力で、欠員が出ないように、よろしくお願いいたします。

○**吉野委員** 中央区自治会連合会会長の吉野です。昨年、車椅子の方に埼玉大学の車椅子バスケットボール選手をお呼びして、講演会を開催、自治体の高齢化の進行、小中学校と関わりをもつなど子ども・お年寄り・障害者が安心して暮らせるようなまちづくりを進めていければと思っております。よろしくお願いいたします。

○**司会** 委員のみなさま、ありがとうございました。

次に、事務局職員をご紹介します。

○**川瀬副参事** 都市経営戦略部の川瀬と申します。よろしくお願いいたします。

○**小島参事** 区政推進部の小島と申します。よろしくお願いいたします。

○**加治主査** 同じく加治と申します。よろしくお願いいたします。

○**萩原部長** 区民生活部長の萩原と申します。大変お世話になっております。本日はよろしくよろしくお願いいたします。

○**辻村部長** 健康福祉部長の辻村と申します。よろしくお願いいたします。

○**野枝課長補佐** 総務課の野枝と申します。よろしくお願いいたします。

○**久富主査** 総務課の久富と申します。よろしくお願いいたします。

○司会 なお、本日の会議では、議事録作成のため、業務委託の受託事業者が入室しておりますので、ご承知おきください。

4 座長及び職務代理の選出

○司会 続きまして、座長及び職務代理者の選出をお願いいたします。

座長につきましては、当懇話会の設置要綱第3条第2項におきまして、委員の互選により定めることとなっております。

どなたか、ご推薦の声はございますでしょうか。

○吉野委員 望月委員を推薦いたします。

○司会 ただいま、「望月委員」との声がございましたが、みなさん、いかがでしょうか。

○全委員 異議なし

○司会 それでは、さいたま市中央区子ども会連合会会長の望月委員に、座長をお願いしたいと存じます。

望月委員、よろしくをお願いいたします。

○司会 次に、職務代理者の選出でございます。職務代理者につきましては、当懇話会の設置要綱第3条第4項で、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたとき、その職務を代理することとなっております。座長があらかじめ指定することとなっております。

望月座長、どなたか、指名者はいらっしゃいますか。

○望月座長 吉野委員を指名します。

○司会 ただいま、望月座長から、「吉野委員」をお願いしたい旨のご発言がございましたが、吉野委員、お引き受けいただけますでしょうか。

○吉野委員 はい。

○司会 ありがとうございます。

それでは、吉野委員、よろしくをお願いいたします。

望月座長、吉野職務代理には、席のご移動をお願いいたします。

○**司会** それでは、当懇話会の設置要綱第4条第1項により、本懇話会の会議の議長は座長とすることとなっておりますので、ここからの進行は、望月座長へお願いしたいと存じます。望月座長、よろしくお願いいたします。

○**望月座長** 改めまして、さいたま市中央区子ども会連合会会長の望月です。

委員の皆様には、円滑な議事進行にご協力賜りますとともに、本懇話会が有意義なものとなるよう、それぞれのお立場から活発なご発言をお願い申し上げます。

それでは、初めに、会議の公開と傍聴の許可について、お諮りをいたします。先ほど、事務局から説明がありましたとおり、本日は、傍聴希望者はなし、報道関係者はなしとなっておりますので、会議を公開することとし、傍聴を許可してもよろしいでしょうか。

また、途中で、希望があった場合は、許可することとしてよろしいでしょうか。

○**全委員** 異議なし

○**望月座長** それでは、会議を公開することとし、傍聴を許可します。

5 中央区の特性と将来像（さいたま市総合振興計画基本計画）の中間見直しについて

○**望月座長** 続きまして、意見交換に入ります。

意見交換に入る前に、さいたま市総合振興計画基本計画について、中央区の人口等の状況や取組内容、そして今回の見直し案のたたき台について、事務局から、資料の説明をお願いします。

○**事務局** 資料をご説明する前に、改めまして、本懇話会の目的等について、確認をさせていただきます。

現在の「さいたま市総合振興計画基本計画」の第4部に掲げる「各区の特性と将来像」につきましても、今回と同様の懇話会を、平成30年度に開催し、いただいた御意見を参考として、作成したものです。

市といたしましては、前回、携わっていただいた関係団体の皆さまに、改めてご意見を頂戴し、中間見直しを行ってまいりたいと考えており、本日の懇話会を開催させていただくこととなりましたので、よろしくお願いいたします。

それでは、初めに、資料1を基に「さいたま市総合振興計画基本計画と中間見直し」及び、「基本計画策定後5年を経過した中央区の現状等」につきましても、ご説明いたします。次に、資料2を基に、事務局で作成した「中間見直し（案）」のたたき台につきましても、恐れ入りますが、一括して、ご説明をさせていただきます。

○事務局 さいたま市総合振興計画基本計画と中間見直し(資料1 P.1~P.4)の説明

中央区の現状等(資料2 P.5 ~ P.11)の説明

中間見直し(案)について(資料P.1~P.7)の説明

只今ご説明いたしました中間見直し案を踏まえ、日頃から、地域の中で、様々な分野で活動されている皆さまから、例えば、将来を見据えた課題や、中央区の強み、弱み、期待などのご意見を賜りたいと存じます。

事務局からのご説明は以上となります。

○望月座長 事務局の説明が終わりました。

それでは、委員の皆様から、お一人お一人から、「中央区の特性と将来像、まちづくりのポイント」について、ご意見をいただきたいと思ひます。

ご意見のある方は挙手をお願いいたします。

○岩崎委員 資料1の中央区の人口および世帯の状況について説明をしていただきたい。世帯数と世帯平均人数が出ておまして、世帯については増えているが、世帯平均人数が減っている。これは出生する赤ちゃんが少ないのかと考へましたが、その辺を教へてもらいたひと思ひます。

それから資料2の将来像について、資料に書いてあるように、新都心にさいたま市役所がくるのが何年後かわからない。5年後には少し変わってくると資料にも書いてあります。その辺の見通しがどうなのか教へていただければありがたい。

それからもう1つまちづくりの関係で区の花が大きくでている。今、与野公園でばら祭りをしていて、私たちのばらを見て、「きれいだな」「また来たい」と思へてもらへている。ばらを植えた時、全国区にばらのサミットをやらうとお話をして、市制20周年ということもあるので与野公園でばらサミットの集まりをして、各市の人たちと交友を深めることができたらい。

○事務局 世帯平均人数が減っている理由としては、単身世帯が増えている。これが、世帯数が増えた大きな原因だと考へます。

市役所本庁舎の移転については、さいたま新都心の東側に市役所本庁舎が移転すると資料に記載したとおり進み始めたといふところでは。

ばらサミットの意見は承りました。

○近藤委員 人口の問題で、総人口について記載されていますが、戸建ての人口とマンションのような共同住宅の人口世帯の比較のデータはあるのでしょうか。1つ目は、その中で、

2030年頃からも人口が増えるとありがたい。2つ目としては、有識者という方のプロフィールを教えていただきたい。一般の方と有識者で選択率がかなり違うのはどうしてなのかわからない。3つ目としまして、9ページに評価意見のデータが出ていますが、これもどのような調査をされているか知りたいです。

○事務局 マンション・戸建ての世帯データはございません。アンケートは令和5年6月から7月に回答いただいたもので、一般の方は18歳以上1年以上中央区に在住する1,500名に発送しまして、そのうち381名から回答をいただいたもの、有識者は中央区のコミュニティ協議会の加盟団体のうち50団体に発送し32団体の回答をいただいた結果です。アンケートのもととしては、市としてアンケートをとったものなので、市のホームページで「市民意識調査」と検索していただけるとご確認いただけたと思います。

○立川委員 資料の6ページに「バスケットボール教室の開催」と記載があるが開催した覚えはない。スポーツ振興会では、ウォーキングでさいたま市の中央区の辺りや西区の場所を回ったりしています。コロナ前はスポーツフェスティバルということで、体育館を借りて、内容は全てニュースポーツで、ファミリーバトミントン、ふらば～るバレーボール、ミニテニス。ここ2年は振興会としては、バスケットボール大会として1日行う。中央区内ではバスケットボールクラブチームに依頼しまして、振興会に限らず、スポーツ推進連絡部でも、春には、ふらば～るバレーボール教室をさいたま市で推進していて、6年目で、今ではどの区もやっている。1月には市民の大会があるぐらいにニュースポーツをいろいろ参画していて、秋には、ソフトエアロビクス教室をしている。今はニュースポーツを広めようとしていて、さいたま市ではパラスポーツの導入、スポーツ振興会ではモルックを参画している。なので、いつバスケットボール教室を開催したのかと思っている。

さらに、さいたまマラソンについて、財政支援やその業界もそうですし、競技団体、振興会のスポーツ推進の全て役割を担って中央区もしくはさいたま市と盛り上げていく。このようなことを記載された方が良い。

○事務局 バスケットボール教室はコミュニティ課が行っている事業で、令和3年度～5年度にかけて3回ほど開催しました。小学生を対象としまして、午前の部と午後の部で分けて開催し、さいたまブロンコス選手が指導しました。2020年東京オリンピック時にさいたまスーパーアリーナが会場となったことから、行ったものです。参加した子どもたちには満足していただきました。

○立川委員 協力している方々への記載はないのですか。

○事務局 お配りしたリーフレットには、その年度に中央区で行われる市の事業をご紹介します。

しているものなので、各団体の皆様が地域でいろんな活動されているものについて記載するものではないということをご理解いただければと思います。

○野口委員 資料1の10ページの7「中央区に対する市民からの評価や意見」で3つの項目が比較的低い数値であります。一つが「運動・スポーツ環境」、一つが「生活道路の安全性」、最後に「名所・名物がある」という3点が中央区としての課題だと思いました。その中で、「生活道路の安全性」というのは、比較的理解しやすく、どのようなところに市民の方々が課題感をもっているのかがわかりやすい。「名所・名物がある」というのは、これは時間もかかることですし、歴史的な要素もありますのでこれから取り掛かるには時間がかかると思いました。最後に「運動・スポーツ環境」ですが、先ほど立川様のご意見にもあった通り、認知度が低いからこういう数値が出ているのか、実際に運動スポーツ環境が不足しているからなのか、この数値からでは読み取りにくい。この3点、特に数値が比較的低いものを改善していくことは、実際にそういう場所などが不足しているからか、何かPRが足りないからなのか、ここは分担して取り組むことが必要だと思いました。

また、今中央区のまちづくりアンケート結果の資料をウェブで拝見しまして、今回の配布資料には評価のみが記載になっていますが、実際は認知度についてのアンケート結果についても資料で記載がされていて、評価は概ね50%を超える数値が示されています。けれども、認知度については、一般の方々の認知度がほとんど50%を下回る数値が出ている。認知度を高める活動も併せて検討していく方がいいです。

○五十嵐委員 まちづくりのアンケートについて、取り掛かれば変わると思いますが、全体的にPRの不足で一般区民には馴染みがない。期待されているかわかりませんが高齢者向けの講座を社会福祉協議会でもやっています。そのため、気になっていて、「高齢者向け講座の開催」の選択率が、一般者が66%、有識者が77%と少ない。中央区には社会福祉協議会は1つでしたが、去年5各地区にわかれた。しかし、予算が少ない。高齢者向けの方の楽しいイベントを何か一つの区と合同で行いたい。例えば地域包括支援センター、高齢介護課と連携しながら講座を開くというような考え方もある。このようなことを調べておりました、まちづくり全体の修正だけではなく、関連する事業を総合的に考えることも一つの考え方だと思います。区民ギャラリーの充実といっても、本町地区のまちの歴史を伝える場所があるのか、そのようなものをPRして来てもらうような努力が見えない。

それと資料2の第4部の地域資源の国指定の天然記念物の与野の大カヤと七福神巡りは、中央区に住んでいる方にはわかるが、市指定の民俗文化財である円阿弥の万作踊りや一山神社冬至祭は、この資料を見て初めて知りました。こういうものを宣伝するあるいはお知らせをする場所がないと宣伝するのは難しいです。

説明は、今日だけですか。今説明を聞いて、意見が出てきますが、今の時間でそれ一つ一つわかりやすい説明するのは難しいと思う。次に機会があれば、まとめて文章にしておきた

いなというのもあるのですがいかがでしょうか。

○望月座長 ありがとうございます。中央区全体の話をしてやるわけにはいかないのですが、今日出された資料に沿ってですね、皆様の方からご意見をいただければと思います。特に、資料2の3ページから書かれております文言の訂正等を皆さんご覧ください。これはもう、これで決定ということですか。

○事務局 皆様からいただいた意見をもとに訂正していきます。

○望月座長 こういう形で終わった後、訂正をしていきたいということでございます。これも含めて皆様の方からございましたらご意見をお願いします。

○土居委員 人口増加について、中央区はもう人口ピークを過ぎているのではないかと。令和5年がピークではないかという感じがする。人口推計を見ると103,151人が、令和6年に103,050人になるということで、人口推計で2035年が人口ピークとなっているが、2030年にピークが来ると思っている。中央区は14歳以下が減っていて、新生児が生まれていない状況にある。どのように人口を増やしていくのかという将来像がこの資料からはわからない。

第4部の「ふれあいと支え合いによる、安全・安心と生きがいのある地域づくり」で「安心して子どもを産み育てられる環境と子どもたちの健やかな成長を支える場や機会の提供」とあり、将来像では、具体的な内容は必要ないと思いますが、この内容についてあんまり書かれているようなものがない。例えば、千葉県の流山市では、若い移住者の方が多くなっている。こういうことを増やす。若い夫婦そして、子どもたちが増えるような都市づくり。これからのまちづくりにはいろいろな名所、それから公共施設の充実などがあっても、もう将来的にどんどん人がいなくなれば宝の持ち腐れですから、人口を増やす、若い人、若い夫婦の移住者を増やすための政策の紹介が資料の中にあってもいい。

○事務局 人口問題に関して、さいたま市の人口についてはご説明した通り2035年（令和17年）に人口ピークを迎えるということですが、中央区では、令和5年時に推計されたデータとして、2035年（令和17年）に人口ピークを迎え、106,146人と予想され、2024年（令和6年）の現在の人口103,050人と比べて3,000人程度増える見込みです。

○阿部委員 資料の10ページの市民意識調査で、「バスの便」「運動スポーツ環境」「名所・名物がある」の評価が低い。中央区の西側にバスの交通網を発展させていくと記載してほしい。中央公園は整備中だが、アリーナを建設することはできないか。中央公園遊歩道の桜は綺麗なもので、憩いの場として有効活用していただきたい。名所・名所に関するイベントとして、参加型のウォーキングラリーを企画してほしい。

○家崎委員 高齢者自転車安全教室を人数は少ないですが、3地区で行っています。

安心安全の部分について、4年生になると自転車安全教室があります。今年度も8校、約800人の児童が参加し、今回よかったのは、保護者が各学校から9～15人ずつ参加して下さった。しかし、安心安全のまちづくりについて伝える場所がない。4年生の自転車安全教室に少しでも保護者の方にも出席していただきたい。自転車のマナーや、ルール知ってもらうため、市民1人1人が自分の命は自分で守ることを意識してもらえるように、安心安全なまちづくりに向けた取組を記載してほしいです。

○貝田委員 さいたま市与野身体障害者福祉会は、人数がいません。時代は変わりまして、障害者が外に出ないということがもうない。障害者の施設の方で、東京オリンピックの時に、アスリートの方が皆さんのところに来て、足が不自由な方も義足をつけて、さっ爽と走る。それまで普通にいた人が急に変わって、新しい足をつけて走っていく。それが当たり前になっているのが今の時代で、若い障害者の方が福祉会というものに入らなくても自分たちでお友達を作って、健常者の方と混ざっても生活している。そして、今まで福祉会を守っていた方々が皆さん高齢になり、少しずつ減っている状況で、顔を見せられなくなって、集まりがあっても来るのはいつもこの3人というような状態になっている。集まってくださる方がいないということはもう何か物事を始めることができないというのが与野福祉会の現状です。さいたま市には、大宮、浦和、与野、岩槻に福祉会がありますが、その福祉会をどのように運営していくか、守っていくか、難しい状態になってきていて、今年どのような話し合いができるのかというところです。今中央区を発展させる、頑張ろうという時に、私がここにいていいのかなと感じますが、年をとったということだけで関わりがなくなるということはあること。それをどのようにしていったらいいのか、今ここでいろいろお話を聞いてそういう話があんまり出てこない。福祉会が来年度は、ただの支部という形になってしまうかもしれませんが、障害者と、それから老人が楽しく、皆さんと一緒に暮らしていけるような中央区を作っていただきたいと思っております。

○三富委員 中央区に対する市民意識調査を見まして、このような意見が出ると思っておりました。バスの便について、バスは、市民の足となっているのが、なかなか本町通りも走らないし、走ったところで本数は少ない。商工会議所の中央区の支部長としてまだ浅いですが、中央区として「ワーキングコミュニティ」という言葉を作りまして、若い人たちが参加できるように、普段思っていること、井の中の蛙にならないように、視野を広げていただくために、始めていますが、なかなか若い人が参加してくれない。これは曜日の関係やいろいろと若い人たちが事業に専念をしているというところで、それをまとめるのは大変です。ただ、場所によっては3回、参加人数が多いということがわかってきたので、なかなか普段やりたいこと、趣味はあれだということを見つけて進めていきたいと思っております。

しかし、まず商店街の発展のために何をしたらいいのかという、大型スーパーに全部とられるようなことはなく、個人のお店、それからまだまだ残っているお店もあるので、地元での買い物が大事ということをもっと皆さん協力、1人1人の真の協力をしていただければ、まちの発展につながる。商店の人もいろいろ工夫を凝らして、いろいろなものを作っていますが、それがなかなか伝わらない。多くは新聞で取り上げられて、有名になって、地方の方から来ていただくこともあります。なかなかそこまでいかない。先ほどスポーツの話にもありましたが、本当にそれに携わらなければ何もわからない、何も耳に入らない。どこで知ればいいのかわからない。その辺のところを一回説明していただければわかりますが、一般市民として家庭の中にいる人は右左もわからない。ただ、チラシを見てと言われますが、4、5回来ていますが、チラシを見たところで細かすぎてわかりません。チラシの作り方も考えた方がいい。はっきりとわかるような作り方を考えるべきかと思います。

次に、今、小さい子を見つけることが大変で、今までみんなそろって学校を出た人たちが周りにいなくなってしまって、見かけることもなくなりました。それから高齢で迷子になる方が出始めてきているところも心配の種の一つであります。今までは、道路の修繕、開発について話がたくさん出ていましたが、少し落ち着いたと思った矢先に、またそういうことがあるということは、安心安全のところをまだ見直す必要がある。

それから、先ほどからいくつか出ましたが、広報が足りてないと思います。お知らせが足りないということは、さいたま市長さん方は人口が増えて喜んでいてと思いますが、中央区の人口を維持するために、どのようにすればいいのか、今までいろいろな開発がありました。大宮駅周辺や浦和でも開発をやっています。バスを通す通さない、一方通行にするしないなどやり直しを繰り返さないように中央区の開発のときには、皆さんのご意見を聞いて、100%皆さんの意見が通るとはわかりませんが、近いものになっていければいい。今回はそのための会だと感じました。それには普段自分たちが困っている、自分たちがしていることを、声を大にしてみるべきかと思いました。皆さん思われていることがたくさんあると思います。我々も商工会議所としていろいろなことを考えて、また商業部会にも携わっていることから、いろいろなお話を聞いて聞きますが、まず方針立てを一本化にしていかなければならない。何本柱にするかわかりませんが、どこを一番重点的に実施するのかということが皆さんの話をたくさん聞いていたら一本化ができないかと思っています。けれどもどこかで集約しないといけない部分があるかと思っています。私もこれから皆さんの話から勉強させていただきますし、中央支部が商工会議所として、より中央区が一層発展するような事業をしなければいけない。また皆さんが喜んでくれることを計画しないといけないと感じたのでございます。皆さん言った方がいいです。これがいいか悪いかは二の次でございますので、私も一緒になってお願いしたいかと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

○山崎委員 「さいたま市ってどんなまち」というリーフレットがありますが、この2枚の写真が中央区を象徴したものかと思いました。そして大きなビルや高速道路がここ10年20

年あたりで大きく変化して、住んでいて驚いています。

働き世代は今忙しいですから、ぜひ児童生徒、中学生や小学生を自治会や訓練などに参加させていただきたいと思っています。避難所訓練の様子を見ますと、自治会の方だけで、若い世代が参加していない。ぜひ子どもたちにあんぱん1つ、クリームパン1つあげれば喜んで行くと思いますので、ぜひそういう避難訓練に参加させてあげてください。それから「ますます元気教室」というものが小学校で開催されています。来る方は喜んで来ます。場所を貸すだけで実際に交流が少ないと実感しております。そして、なかなか参加人数が増えない。毎年やっていて、きっとご高齢の方も忙しいのかなと思います。せっかく各小学校を開放しているのに、ぜひ足を運んでいただいて、小学生との交流のある「ますます元気教室」として改善していただければ、来る方も子どもたちもおじいちゃんおばあちゃんと接する機会ができて喜ぶと思いますので、ぜひよろしくお願いします。

それからくつろげる場所が少なく、10ページ11ページの「中央区に対する市民からの評価や意見」のところ「くつろげる場所があるか」という項目が低かったが、大きな体育館の施設ではなく、親子で少し遊べる場所、あるいは自然とくつろげる場所が欲しいという意見がありました。スーパーアリーナはとても素晴らしい施設ですが、いざ親子で行くとなかなか日影がない、涼しい場所に一緒にいられる場所がない、子どもたちが自由に遊べる場所がない。自然豊かな中央区ですのでぜひそんな場所も増やしていただきたい。

もう1つ小中学校における水泳授業の民間委託が始まりました。プールが古くなっていますが、この民間委託は素晴らしい。指導者がプロなので、上達が非常に早い。もう1点は改善していただきたいのは、近くのプールに行けないということで、バスでわざわざプールに通っています。この辺は民間スイミングスクールがたくさんありますので、ぜひ協力を得て、できれば適切な指導をしていただくという方向性で考えていただいて、よりよい教育と、発展、そして、高齢者・障害者が住みやすいまちにさせていただけることを願っております。

○山本委員 住んでいる家の近くに中央公園がありまして、中央公園の今後についていろんな人に聞かれますがわからない。私は回答できない。今後の中央公園はどうなっていくのか、具体的に区の住民の方にお知らせをしていただきたい。社会協議会委員さんが主催したものなどへ私も出させていただいて話を聞いていますが、具体的に私もわかりません。私にわからないことはわからない方が多いと思う。これについて中央区は関係ないというわけには当然いかない。区委員の皆さんに説明を送付していただきたい。

バスの関係について、駅がたくさんあるので、歩ける方は比較的問題はないですが、本当にそういうものに頼らないと移動できないという方についてはタクシーを使えと言っているのですが、買い物や大きな病院等には小さいバスやコミュニティバスでもいいので何か考えていただきたい。

それから、学童保育についてです。これも充実していない。1年生の時には学童保育を受

け入れられたのが2年生から断られる。いろいろ細かい規約があると思いますが、学童保育は大事だと思いますのでこれを充実していただきたいと思います。

最後に、民生委員は、任期は3年。1期3年です。3年やるともうやりたくないと言って辞めてしまう方が多いことから、される方が少ない。さらに定年がありまして75歳から民生委員はできません。そういった部分で、若干お願いで75歳でもされている方もいるみたいですが、もうやり手がいない場合は、自治会長さんが推薦していただくというのですが、自治会長さんも兼ねてやっている方もいる。任期3年を短くしてしまうというわけにはいかないで、やれる方が多くなることを願っています。

○吉野委員 生活道路の安全性について、資料の2の3ページ「古い街並みと新しい都市空間の調和、歩いて楽しいみちづくり」とあるが、ここに具体的に生活道路の安全性という言葉を入れた方がいい。それと4ページのコミュニティの「より柔軟な新しいコミュニティの形成にも努め、人々の交流をまちづくりの基盤にしていくことが課題」ここの交流をふれあいとした方がいい。

○望月座長 どうもありがとうございました。会議を代表するという立場で最後にお話しますと、オリンピックでパリの町並みが綺麗でエッフェル塔が真ん中にあり、その周りの建物は低く、奥の方に高層ビルがあって結構大変綺麗なまちづくり。それと比較した時、東京タワーの周りには大きなビルがたくさんあって目立ってない。何か景観的にもパリと比べると残念。それに加えて、中央区も何かメリハリをもって、そして住みやすい綺麗なまちになったらいい。

あと、資料2の4ページのコミュニティの部分について、「差別のないまちづくり」というのを文言があってもいい。先ほど言いましたように紹介されました民俗差別だけではなく、いろんな差別があります。この中ではあんまり取り上げられてないですが、LGBTQについて、パリのオリンピックの開会式でもありましたが、LGBTQの配慮に対する世界的な流れがあることから、そのことについては何ら捉えられていないので、そういった視点も必要だと思います。

○望月座長 委員の皆さん、ほかにご意見はございませんでしょうか。

それでは、意見交換会は以上といたします。

その他として、事務局から何かありますか。

○事務局 事務局からご提案がございます。

本日で意見交換が終わらなかった場合に備え、8月28日(水)に、第2回懇話会の開催日程を予定しておりますが、おかげさまで、予定しておりました事項につきまして、皆様からご意見を頂戴することができました。事務局といたしましては、詳細をもう少しのお話も

ありましたが、各般にわたるご意見を頂戴できたものと考えております。そのため、本日の懇話会をもって、中間見直しにあたっての意見交換を終えたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

○望月座長 ただいま、事務局からご提案があった内容について、いかがでしょうか。

○全委員 異議なし

○望月座長 異議なしの声がありました。

それでは、本日をもって、意見交換を終えたいと思います。

他に議題がないようでしたら、進行を事務局へお返しいたします。

6 閉会

○司会 皆様、長時間にわたり、ありがとうございました。

中間見直しに関する今後の流れですが、本日の懇話会でいただいたご意見等を参考として、本庁関係所管課とも調整し、中央区の「区の特性と将来像」の中間見直し案を確定します。

会議の冒頭でご説明いたしましたとおり、開催が予定される、地方自治法に基づく附属機関である「総合振興計画審議会」へ、中央区の「区の特性と将来像」を含む、総合振興計画基本計画の見直し案を諮問し、今年度中に答申をいただく予定としております。

そして、来年度、令和7年度に市議会への報告やパブリックコメントを経て、基本計画改定の議案を市議会へ提出する予定となっております。

次に、事務連絡となりますが、既にご案内のとおり、本日の懇話会のご出席に対しまして、謝礼をお支払うこととなっております。お支払いにつきましては、本日、「委員登録票」の中でご報告いただきました、振込先口座へ、8月15日（木）にお振込みいたしますので、ご確認をお願いいたします。振込額は、源泉徴収後の額となっておりますので、予め、ご承知いただきますよう、お願い申し上げます。

これをもちまして、「さいたま市総合振興計画基本計画（各区の特性と将来像）中間見直しに係る中央区検討懇話会」を閉会といたします。

お帰りに際しましては、事故のないよう、お気を付けくださるよう、お願い申し上げます。本日は、誠にありがとうございました。

以上